

議 事 録

会 議 名	令和6年第2回津島警察署協議会（定例会）																
日 時 ・ 場 所	令和6年5月24日（金） 午後2時から午後4時までの間																
	津島警察署 講堂																
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">堀江 泰史</td> <td style="width: 25%;">会長</td> <td style="width: 25%;">渡邊 みづえ</td> <td style="width: 25%;">副会長</td> </tr> <tr> <td>米山 由美</td> <td>委員</td> <td>山田 泰司</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>恒川 真理子</td> <td>委員</td> <td>滝川 林弥</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>水谷 直司</td> <td>委員</td> <td>浅井 治行</td> <td>委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上8名（定数12名）</p>	堀江 泰史	会長	渡邊 みづえ	副会長	米山 由美	委員	山田 泰司	委員	恒川 真理子	委員	滝川 林弥	委員	水谷 直司	委員	浅井 治行	委員
	堀江 泰史	会長	渡邊 みづえ	副会長													
	米山 由美	委員	山田 泰司	委員													
恒川 真理子	委員	滝川 林弥	委員														
水谷 直司	委員	浅井 治行	委員														
<p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">小林 署長</td> <td style="width: 25%;">蒔田 副署長</td> <td style="width: 25%;">久野 警務課長</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>山原 会計課長</td> <td>廣 生活安全課長</td> <td>伊藤 地域課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>近藤 刑事課長</td> <td>山田 交通課長</td> <td>佐野 警備課長</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p>	小林 署長	蒔田 副署長	久野 警務課長		山原 会計課長	廣 生活安全課長	伊藤 地域課長		近藤 刑事課長	山田 交通課長	佐野 警備課長						
小林 署長	蒔田 副署長	久野 警務課長															
山原 会計課長	廣 生活安全課長	伊藤 地域課長															
近藤 刑事課長	山田 交通課長	佐野 警備課長															
<p>3 有識者 なし</p>																	
諮 問 事 項 等	効果的な採用活動方策																
答 申 等 の 概 要	<p>1 若手警察官が警察活動の魅力を説明する場の設定</p> <p>2 各学校で交通講話、防犯講話をする際に警察官の仕事の魅力を伝達</p>																
そ の 他	次回開催予定 令和6年8月頃																

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	前回の答申に対する施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	高齢者交通事故防止対策
	(2) 答申
	ア 指定場所一時不停止、横断歩行者等妨害等違反などの交通違反の取締り
	イ 幼稚園や保育園、自治体、企業と連携した交通事故防止方策の実施
	(3) 施策の推進状況
	ア 交通事故分析に基づく交通指導取締活動の推進
	事故発生状況を分析し、交通事故実態を踏まえた指導取締活動を推進
	イ 幼稚園や保育園、自治体、企業と連携した交通事故防止方策の実施
	(ア) 幼稚園に対して交通安全モデル園の委嘱
	(イ) 民生委員や包括支援センターに協力依頼
	(ウ) 企業に対する交通安全講話
	ウ その他
	(ア) 認知機能検査時に交通安全教室の開催
	(イ) 交通死亡事故発生場所付近への情報提供、本部白バイの集中投入、
	交通死亡事故発生情報をケーブルテレビ、ラジオ、YouTubeで
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
広報	
(ウ) 高齢者団体への交通安全講話	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
効果的な採用活動方策	
(2) 諮問事項の設定理由	
警察官の採用受験者数は10年前に比べると減少し、受検倍率も下落傾向が続いている。若者が警察官に魅力を感じ、目指したくなるような採用活動が重要であることから諮問事項とした。	
6 協議	
委員	・ 私たちの業界に入ってきた子にどうしてこの業界を選んだのかと理由を聞いても給料だったり、時間だったり仕事内容や、強い意思で選んでいる子ばかりではない。
委員	・ 警察と高校生や大学生との接点が余りないように感じる。 高校や大学へ行き、剣道や柔道の指導をして交流の場を設けてはどうか。
委員	・ 警察活動に協力的な人は警察が採用について苦労していることも知っているかもしれないが、接点がない人はなかなかわからない。
委員	・ 中学校や高校には薬物乱用教室の講話に行っているはずだから、そこで警察官の仕事の説明をしてはどうか。仕事の魅力ややりがい を説明できれば、興味がある人は増えていくと思う。
委員	・ 採用試験の問題の配布をできないか検討してほしい。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
企業では大学での奨学金の保証制度や手当の優遇を実施している。	
委員	・ 採用した人が警察学校に入る前に辞退したり、警察学校で辞めることもあるのか。
もしあるのならば、なぜ辞めるのかその理由も考えた方がいい。	
委員	・ 警察の仕事はまだまだ体力仕事のイメージがある。体力が余りない学生は初めから警察官になろうと思わない。
委員	・ 警察官の仕事はすごくやりがいのあるいい仕事だと思う。そのやりがいをしっかりと広報することが大事だ。
委員	・ 警察官の仕事は知らないことが多い。説明会の場には親も一緒に来てもらい、親にもしっかりと説明して、親に理解してもらおう。
親から子供への説明が大事だ。	
委員	・ 採用されて一年目の警察官を呼んだ方がいい。つたない説明であったとしても、入ってすぐの子が感じる仕事についての考え方や内容を聞きたいはずだと思う。
委員	・ 学校ではキャリア教育に力を入れているらしい。学校に出向いて説明する頻度を上げてほしい。
委員	・ 警察官の仕事が犯人を捕まえるだけではないということ、警察の中にも様々な仕事があると伝えることが大事だ。
委員	・ 鑑識の体験だけでなく、警察の仕事を体験させることも大事ではないか。
委員	・ 警察学校は厳しいというイメージがあると思う。
委員	・ インターンシップと呼べるものをもっと企画できたらいいと思う。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
警察署で少し鑑識体験するだけでなく、県警全体で大規模な捜査	
部門の体験が幅広くできるといいと思う。魅力向上の方法を考えてほ	
しい。	
委員	・ イメージアップを考えるべきだと思う。警察官は正義の味方のイ
	メージなので県民と接するときは柔らかい物腰で言ってほしい。
委員	・ 昔は情熱的な警察が主役のドラマがいっぱいあったような気がする。
	最近は余り見かけないような気がする。そういうドラマが増え
	ると警察のイメージアップにもつながると思う。
委員	・ SNSでは流行曲でダンスする動画がはやっている。警察も制服
	姿でそういったことができるようになると気にかけてもらえるよう
	になるのではないか。
警察	・ 制服姿で仕事時間中にダンスすることが県民の皆様から理解を得
	られることばかりではないので難しいかもしれません。
7 答申	
(1) 若手警察官が警察活動の魅力を説明する場の設定	
(2) 各学校で交通講話、防犯講話をする際に警察官の仕事の魅力の伝達	
8 その他	
次回の開催予定は、令和6年8月とする。	
記録者	警務係長